

新型インフル警戒「5」

WHOが水準引き上げ

「世界的大流行迫る」

【ジュネーブ＝共同】新型インフルエンザの拡大を受け、世界保健機関（WHO）は二十九日、警戒水準（フェーズ）を「4」から初めて「5」に引き上げた。

「5」は世界的大流行（パンデミック）に極めて近い状況。国際的な人の移動などの制限が一層強化され、経済、社会の各分野に深刻な影響が広がるのは必至だが、WHOは国際社会に強い警告を発する必要があると判断した。

新型インフルエンザ

新型インフルエンザ警戒水準
(WHO資料を基に作成)

- | | |
|------|--------------------------------|
| フェーズ | |
| 1 | 人への感染リスクは小さい |
| 2 | 人への感染リスクが高いウイルスが動物で流行 |
| 3 | 人への感染例はあるが人から人への感染はないか極めて限定的 |
| 4 | ウイルスの人への感染力が強まり人から人への感染が小集団で発生 |
| 5 | より大きな集団で人から人に感染 |
| 6 | 世界的大流行 |

WHOのマーガレット・チャン事務局長が緊急に記者会見して発表した。
チャン事務局長は、警戒水準の引き上げは「世界的大流行が差し迫っている」という強い警告だ」と述べた。